

令和3年10月吉日

会員施設 管理者 御机下

一般社団法人 日本リハビリテーション病院・施設協会

会 長 齊藤正身

担当副会長 近藤国嗣

調査・検証委員会委員長 徳永能治

**「令和3年度 回復期から生活期までのリハビリテーション効果に関する実態調査」
調査の実施について（ご依頼）**

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日本リハビリテーション病院・施設協会では、平成28年より「回復期から生活期までのリハビリテーション効果に関する実態調査」を行ってまいりました。本年度以降も地域リハビリテーションの質の向上に寄与すべく、同様の調査を継続したいと考えております。なお調査結果や成果につきましては、リハビリテーション・ケア合同研究大会や協会誌で報告、掲載させていただいております。内容の一部を別添しておりますのでご覧ください。

今回の調査につきましても、回復期部分は、データ入力負担を考慮して、回復期リハビリテーション病棟協会が行う「回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する実態調査」と類似した項目とし、回復期病棟退棟後の生活期における状態を集中的に調査頂く形式とさせていただいております。

管理者の皆様におかれましては、本調査が今後の生活期を含めたリハビリテーションの成果を考えるうえで貴重なデータになることを何卒ご理解いただき、貴施設のご担当の先生にご指示ご高配いただければ幸甚です。また、ご担当者様への案内文書を別紙にて添付させていただきます。

ご多忙のところ大変恐縮ですが、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

1. 調査名:回復期から生活期までのリハビリテーションの効果に関する実態調査
2. 実施方法:

当会ホームページ>会員調査の入力はこちらをクリックして詳細をご確認ください。

回答は資料をダウンロードいただき、入力後に当協会(info@rehakyoh.jp)までご返送ください。

なお、調査に関するお問い合わせはメールのみでお受けいたします。

【本調査の返送先】 info@rehakyoh.jp (日本リハビリテーション病院・施設協会事務局)

【本調査事業に関するお問い合わせ先】 chousa-kensho@rehakyoh.jp (担当：中島龍星)

以上

一般社団法人 日本リハビリテーション病院・施設協会 事務局

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町14 千代田寿ビル3階

TEL03-6260-8146 FAX03-6260-8147

別紙

ご担当者様

**「令和3年度 回復期から生活期までのリハビリテーション効果に関する実態調査」
ご協力をお願い**

日本リハビリテーション病院・施設協会では本年度も上記調査を実施いたします（本年度も8月中に回復期リハビリテーション病棟を退棟した患者様が対象です）。調査項目、提出時期などの詳細につきましては、当会ホームページをご確認ください。

つきましては、本調査における退院後の生活期患者調査を円滑に行えるよう、担当ケアマネジャー等への調査協力依頼例文を以下に記載しますので、必要に応じてご利用ください。ご多忙の中大変恐縮ですが何卒ご了承頂き、ご協力よろしくお願い申し上げます。

一般社団法人 日本リハビリテーション病院・施設協会
調査・検証委員会委員長 徳永能治

【問合せ先】 調査・検証委員会 中島・徳永（長崎リハビリテーション病院）
メール：chousa-kensho@rehakyoh.jp

例文)

	令和3年 月 日
居宅介護支援事業所×××	
〇〇 〇〇様担当	
介護支援専門員様	
	〇〇〇〇〇〇病院 院長 〇〇 〇〇
当院回復期リハビリテーション病棟退院後の生活状況の把握について（お願い）	
時下益々ご繁栄の事とお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。	
さて、当院が加盟しております日本リハビリテーション病院・施設協会では回復期リハビリテーション病棟退院後の生活期リハビリテーションの質の向上を目的に、会員施設を対象とした「回復期から生活期までのリハビリテーション効果に関する実態調査」を実施しています。当院においてもこの趣旨に賛同し調査協力を行っております。つきましては当院回復期病棟を退院された患者様の生活状況について 退院後1か月・3か月・6か月程度 での情報収集にご協力いただきたくお願い申し上げます。	
ご提出いただいたデータが個人や個々の施設が特定されるような形で公表されたり、上記調査以外に使用されたりすることはありません。	
業務多忙のおり、誠に恐縮とは存じますが、本趣旨をご理解いただきご協力賜りますようお願い申し上げます。	